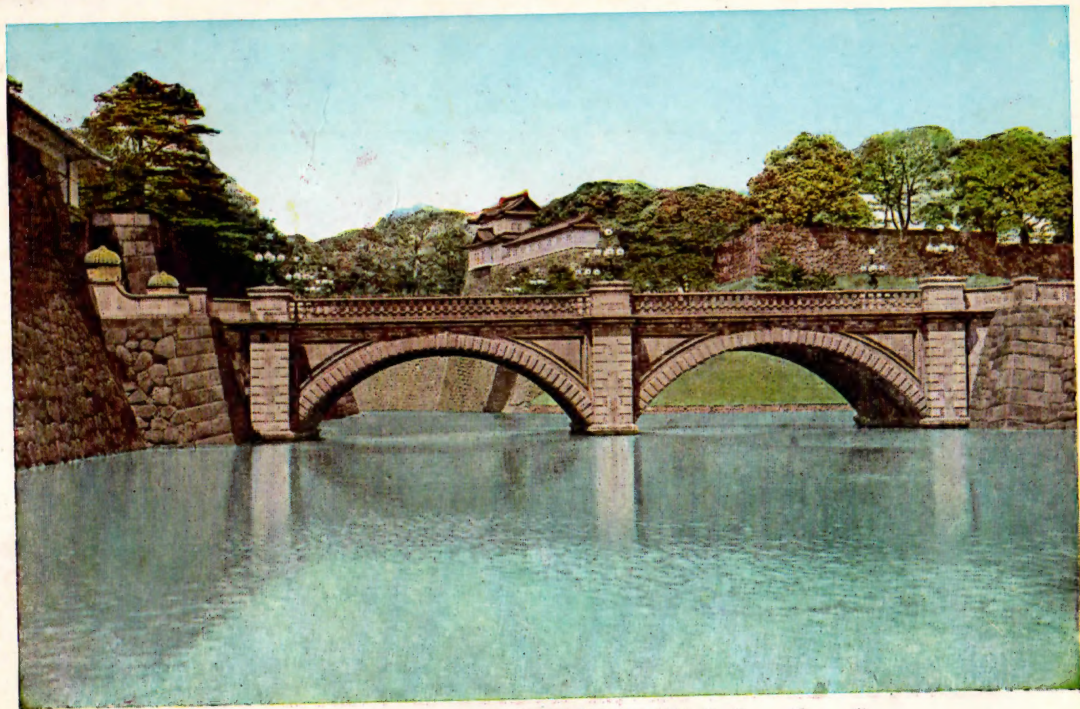


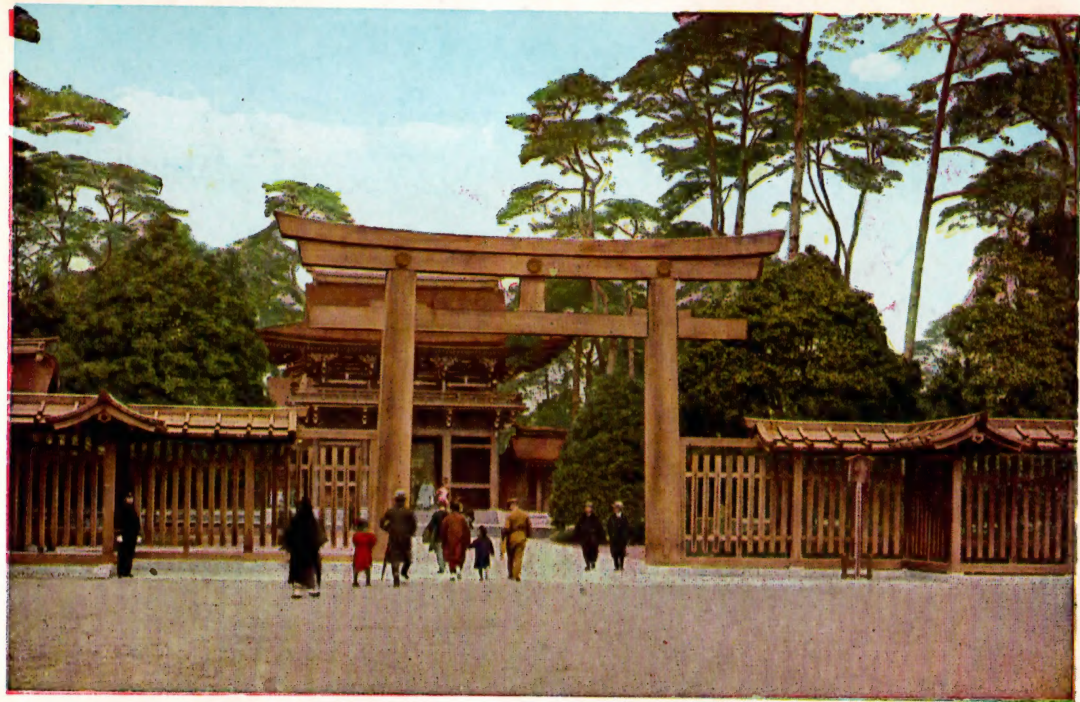
大東京の美觀

最新版説明入

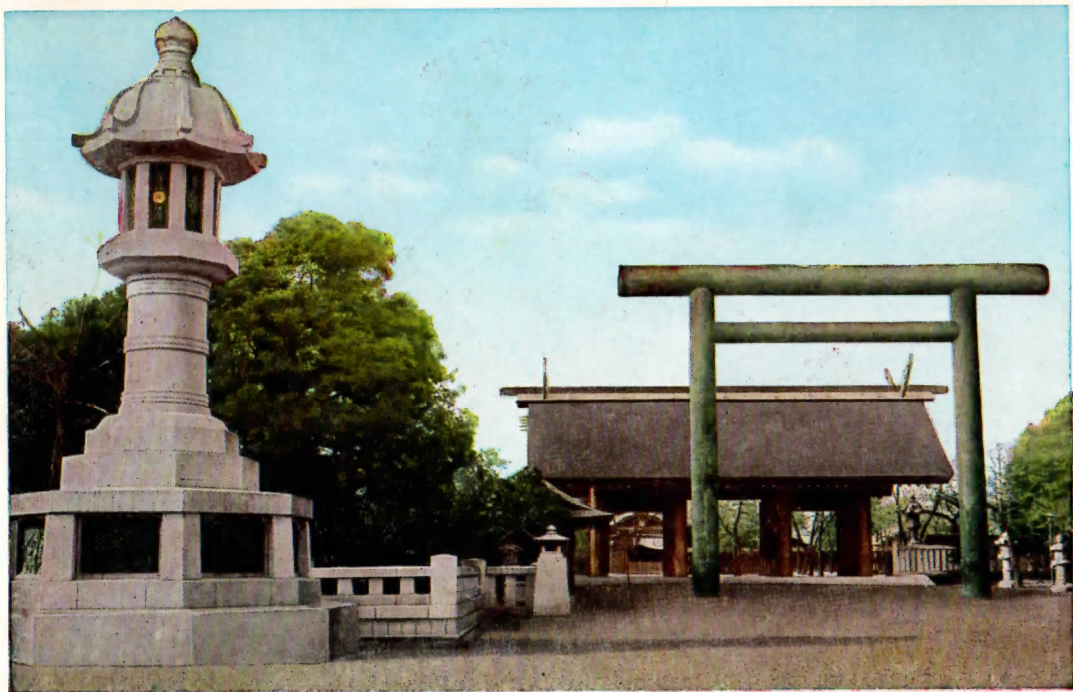




二重橋の玉の居の丸の内第一歩、仰神聖、古松の深翠に榮へて自づから
（因みに舊態を造るに橋の代へたるは明治廿一年）美の高崇むしらす然肅



造門樓脚八ひ用を木素檜は門る至に門神南りよ道参表に中の嚴森域聖・門神南宮神治明
。坪萬二十二約畝面 れけ尊もく畏る奉び偲を心御大。る至に殿拜りよれこりなり



域聖るす祀合を鑑英の國護來以役の辰戌く遠は社神國靖社大幣官格別 社 神 國 靖
 〇すなを踏雜る顔てりあのもし催の々種は日祭。りあ祭大に季二秋春 るあで



●像の公楠臣忠呼鳴、つ建てし脱牌を外中々堂風偉に前橋重二城宮 像 銅 の 公 楠



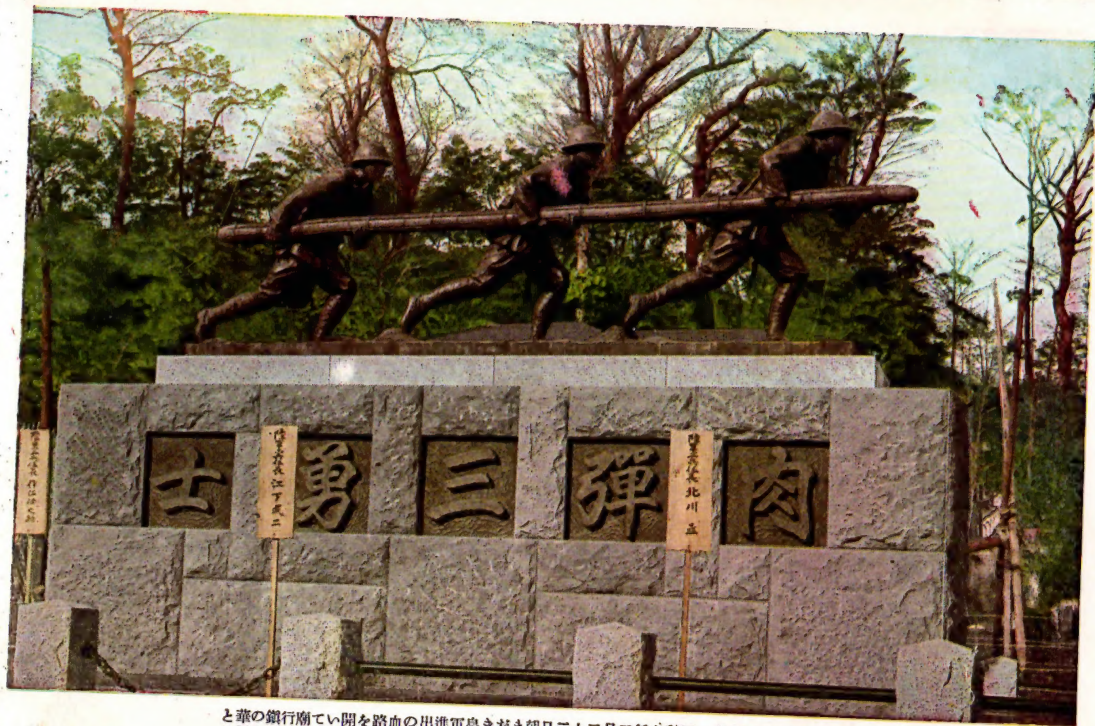
乃木 邸 國護の神と仰るが乃木將軍夫妻が明治帝の御跡を慕ひて自刃せられ
た乃木邸は其の樣の當時の一般參觀を許され居りたまふ



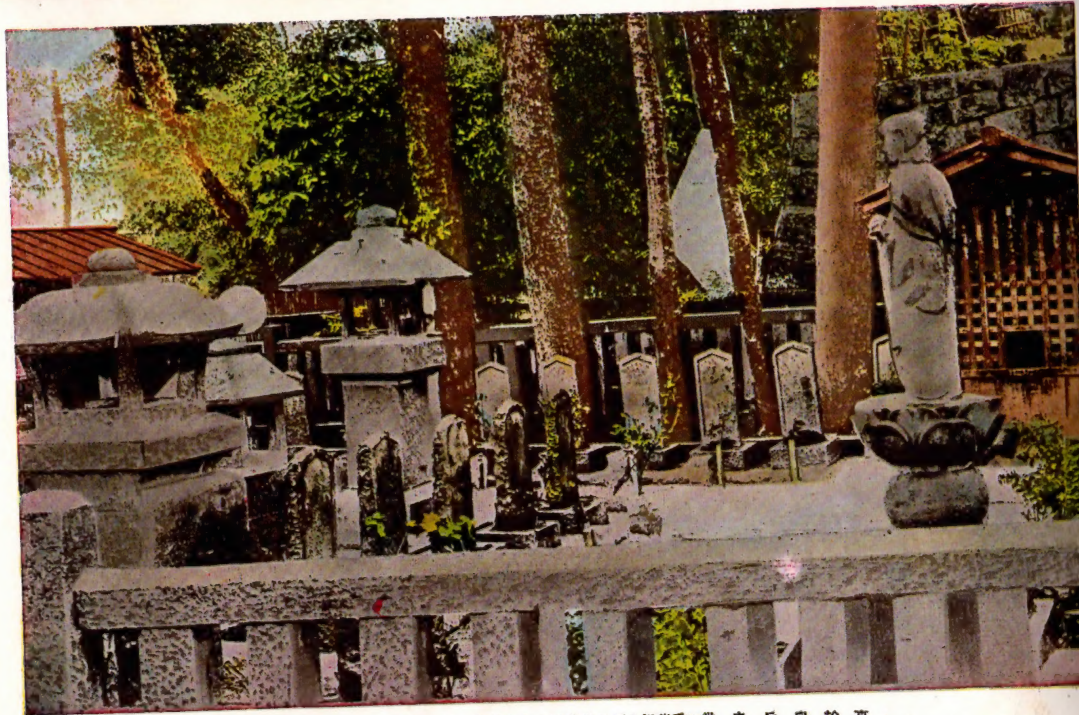
至仁はに内境。たれか免を火災はに災震大もくし奇し稱と寺草淺山龍金 靈 香 觀 草 淺
 りな一隨本日事きし夥者詣参め極を嚴壯てれさ築改後の共は堂本。りあ塔之重五、門



隅田公園 東京唯一の水公園、言問橋に心中型と成し、向島今戸の對岸一帶
 近現代絶好の地。西岸に櫻樹多數有、開花期に殊に賑ふ。



と華の銀行廟てい開を路血の出進軍皇きだま朝日二十二月二年七和昭 像銅の士勇三彈肉
 る居てつなと的の敬崇民國れらて建に内山寺松青芝。像銅の士勇三の江作、川北、下江たつ散
 〆立建年九和昭



高輪泉岳寺に常香絶る七十四士墳墓の地、外に關係者もふ。寺内に
 義遺物展覧場、上野介義央の首洗池あり。



西郷銅像 上野公園に明治三十三年建立以來然として聳え立つ西郷南洲先生の英姿。



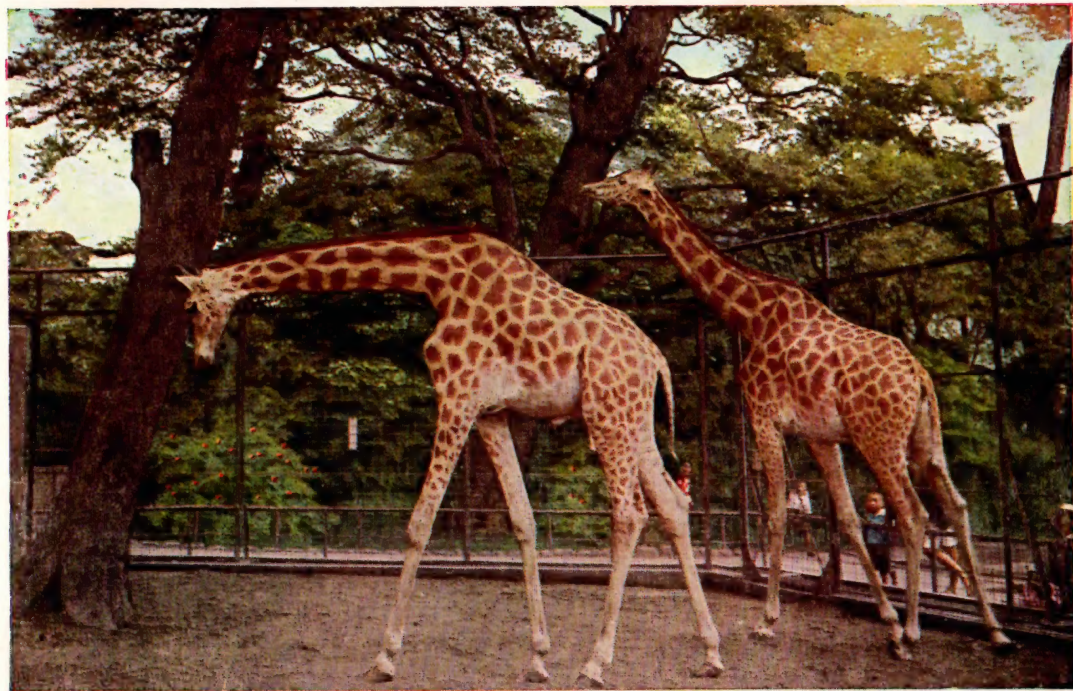
銀座大通り 銀座座の橋新町の銀座第一の繁華街で夜歩漫遊の人々
 銀座座の橋新町の銀座第一の繁華街で夜歩漫遊の人々



大む収を骨遺の八九五、六五者死災所同たれさ立建に跡廠服被舊區所本 堂 念 記 災 震
 。るれは行が祭饗慰に大盛日一月九年毎。宇堂



る誇を本日伎舞歌は築建壯豪のり造風破山桃、堂殿の際國、座王の劇國 座 伎 舞 歌
 るめで客俵いし應相に



もるな主め集を鳥奇獣珍るゆらあ界世、坪餘萬二積面の其は園物動野上 園 物 動 野 上
 洋東び及にき多の種百數のもるな々種他の其等熊白・ンオイラ・ラト・馬河・象・シリキはの
 りな園物動的想理の一



園花・湯動運、地適好の策散民市園開年六卅治明に跡場兵練團師一第舊 園 公 谷 比 日
。し佳に季四し游放魚鳥はに池のつ二。りあ等堂會公・堂樂音



道角や今、し態を觀盛の員滿超下傘徴大所場本、夏、春、撲相大本日大 館 技 國
 〇事行中年又形人菊の秋、涼納の夏盛、出現代時金黃

昭和十六年三月二十日印刷
昭和十六年三月三十日發行

編輯印刷兼
發行者
東京市下谷區神御徒町四ノ十

石川徳三郎

印刷所
東京市下谷區神御徒町四ノ十

松聲堂印刷部

發行所
東京市下谷區神御徒町四ノ十

松聲堂